

2年生 国語

せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう

「馬のおもちゃの作り方」

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

札幌市立二条小学校 畔川耕一

目次

1. 単元構成
2. 本時について
3. 本時の成果と課題
4. ワークシート&清書
5. 今後に向けて

1. 單元構成

単元構成(14時間)

「馬のおもちゃの作り方」を読み、それを活かして、自分で選んだおもちゃの作り方の説明を書こう。

1次【1～2 / 14】 学習の見通しをもつ。
【「馬のおもちゃの作り方」を読み、それを活かして、おもちゃの作り方を書く】という学習の見通しをもち、自分が説明したいおもちゃを決める。

2次【3～6 / 14】 説明の工夫を見つける。
「馬のおもちゃの作り方」を読んで、実際におもちゃを作り、分かりやすく説明するための工夫をおさえる。

3次(本時)【7～14 / 14】 自分でおもちゃの作り方の説明を書く。
学習してきた説明の工夫を使いながら、おもちゃの作り方を書く。
書いた文章を読み合い、文章を見直したり、良いところを見つけ合ったりする。

おもちゃランドが楽しみだな。
○○のおもちゃの説明を書きたいな。

「文章のまとめり」、「説明の順序」、
「絵や写真」の3つが分かりやすい説明の工夫だね。

〈作り方〉をもっと分かりやすく書くには…

順序を表す言葉

工夫・気を付けるところ

長さ・大きさ

絵や写真

場所・向き

分かりやすい説明を書が書けたよ。
友だちに作り方が伝わって良かったな。

説明文を読んで、説明の仕方の工夫を見つけることができた。
順序が分かるように気を付けて、分かりやすい説明を書くことができた。

学習の流れ

 (生活科)
①「動くおもちゃを作ろう！」



①説明の仕方に気を付けて読む。

【読む】馬のおもちゃの作り方



②「おもちゃの作り方説明書」を書く。

【書く】おもちゃの作り方をせつめいしよう

本時
〈作り方〉の部分を分かりやすく
書く工夫について考える。



③お互いの説明書を読み合って、おもちゃを作る。



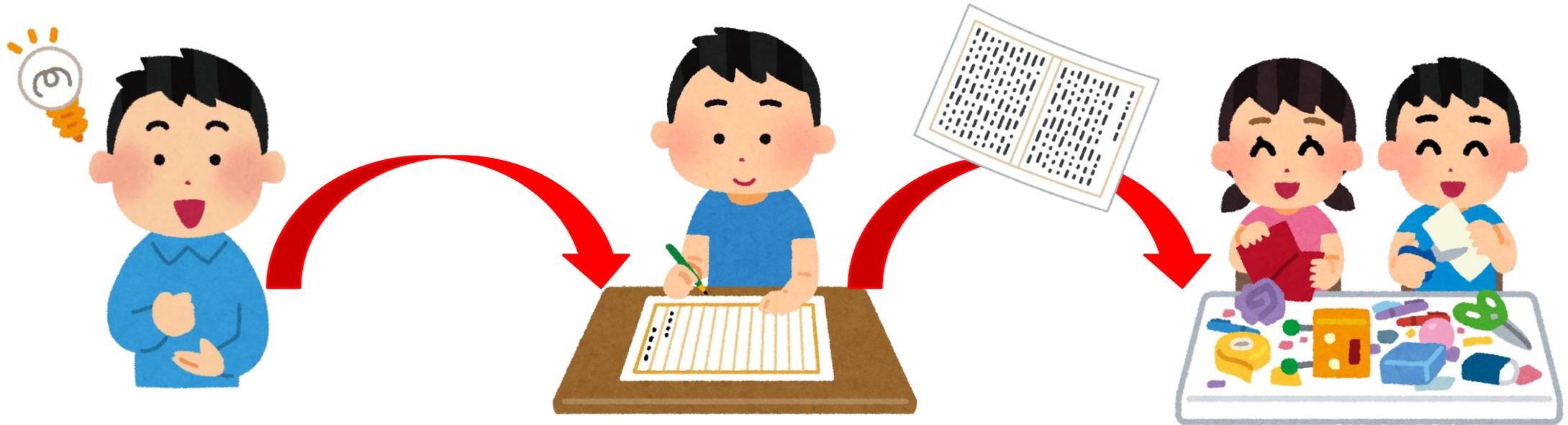
自分たちで遊ぶ。1年生に貸す。

目指す姿

書き方が分かった！

書けた！

書いてよかった！



- ・学習の見通しをもち、**楽しみながら書く。**
- ・友達に伝わった！という経験から、**書くことが好きになる。**

前時までに ～「馬のおもちゃの作り方」では～

説明書の書き方の工夫

1. 文章のまとめ

〈前書き〉 〈材料と道具〉 〈作り方〉 〈楽しみ方〉

2. 説明の順序

「まず」「次に」「それから」「最後に」

3. 絵や写真

+こんなことが書いてあるから分かりやすい！

「馬のおもちの作り方」から見つけた工夫

馬のおもちの作り方

みやもとえつよし

作り方のせつめいのくふうはつ

ポイント!

- 。気をつけたこと
 - 。なんども読みかえしたところ
- 赤で線をひく。

長キ、大キ

四センチメートルずつ四つ

三つは、体
一つは、半分

細長い
四角形

むき

よこむき

はしを
合わせて

〇〇を

ホチキス

十二センチメートル

はしを二センチ

二つ 四つ

数字

絵

何こ

〇〇を△△する。
くわしく書く

(教科書本文を拡大して提示)

何を

〇〇を
とめます

おちき

たて
〇センチ

よこ
〇センチ

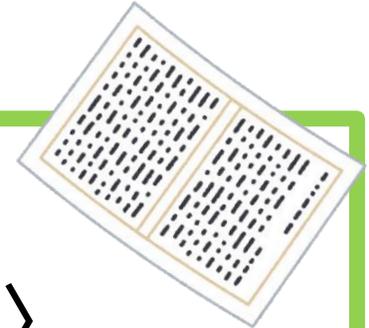
前時まで

～「おもちゃの作り方をせつめいしよう」では～

文章のまとめ

組み立てメモ

〈前書き〉 〈材料と道具〉 〈作り方〉 〈楽しみ方〉



説明の順序

①→②→③→④の順序を考えて、
「○○を△△する。」という文型で、
「何」を「どうするか」を簡単に書く。

組み立てメモ

〈作り方〉 ○○を△△する。

魚つり

の作り方

名前

ふつうの魚つりより、楽しくて、いろいろな人がいると、もり上がる。魚つりの作り方をしょうかいたします。

へざいりょうとどうく

- ・糸(三十センチメートルくらいの長さ)
- ・色画用紙・(紙コップ)・(黒い)わりばし
- ・(カ)プメンの(ま)き・はさみ・テープ

へ作り方

①わりばしに、糸をつけて、糸に、じ石をつけます。

②魚の形に切ります。

③魚のうらに、うすく点数を書きます。

④魚にクリップをつけてつれます。紙コップや、食ひんトレイに魚をつけてもいいです。

へあそび方かへ楽しみ方

このせつめい書にのっていない魚を作ってみてもいいですね。いろいろな人と魚をつってあそべます。チームでやっても楽しいですね。

2. 本時について

「書くこと」の活動構成

生活科での経験から

〈題材の設定〉〈情報の収集〉〈内容の検討〉

説明するおもちゃを決める。

〈構成の検討〉

構成…「組み立てメモ」

段落のまとめり・説明の順序を考える。

〈**考えの形成**〉〈記述〉〈推敲〉

本時 分かりやすい説明の仕方を考える。
説明する文章を書く。

〈共有〉

友達と読み合って、おもちゃを作る。

本時の流れ

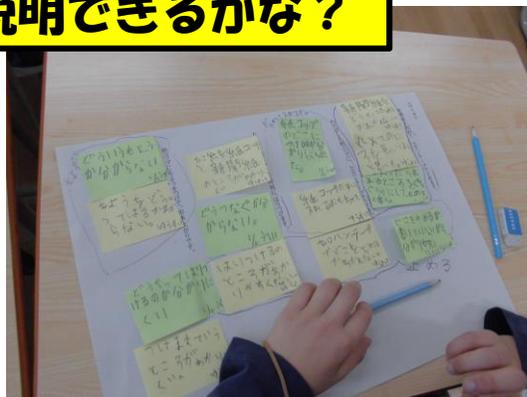


教師の例文を見て、
実際にけん玉を作る。

分かりにくい!

どうすれば〈作り方〉を
分かりやすく説明できるかな？

自力解決とペア交流



全体交流



この〈作り方〉の書き方は、分かりやすい？分かりにくい？

○説明書通りにおもちゃを作れそうかどうかを考える。

これでは、上手く作れないよ。

詳しくないから、分かりにくいな。

どうすれば「おもちゃの作り方説明書」の
〈作り方〉をもっと分かりやすくできるかな。

○どのように直せばよいのかを考え、自分の考えを付箋に書く。

○ペアで交流し、付箋を仲間分けする。

絵や写真

こんな図が
あったら、
いいと思う。



〈作り方〉
新聞紙を丸めて、セロハンテ
ープでとめます。
わりばしを紙コップに、セロハ
ンテープでつけます。
たこ糸を紙コップと新聞紙
にはりつけます。
紙コップにきれいなもようを
つけてかんせいです。

場所・向き

「どこに」
つけるのか
くわしく書く
といいね。

順序を表す言葉

「まず」「次に」
などの言葉
入れよう。

長さ・大きさ

たこ糸の長さ
は、何cm
くらいかな。

工夫・気をつけること

テープが「とれないように」
と書いたら分かりやすいんじ
ゃないかな。

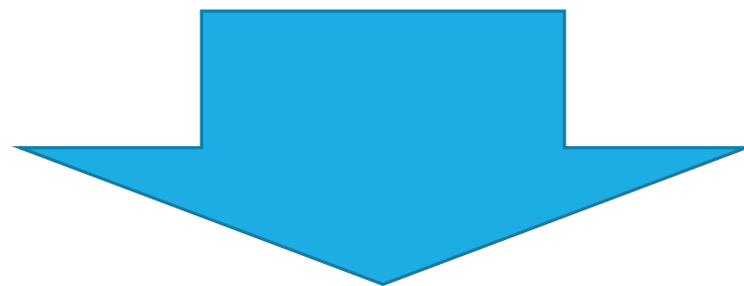
○全体で共有し、説明の工夫をまとめる。

読む人が分かりやすいように、「順序を表す言葉」や「絵や写真」を入れたり、「長さ・大きさ」「場所・向き」「工夫・気をつけること」などを付け足したりして、くわしく書くといいね。

自分の説明書に使いたい工夫は何か？

本時のポイント

- ・教師の例文を読んで、**実際におもちゃを作る**
- ・例文の改善点を見つけるための、**付箋**を使ったペア交流



「読み手」→「書き手」への視点の転換

〈作り方〉

新聞紙を丸めて、セロハンテープでとめます。

わりばしを紙コップに、セロハンテープでつけます。

どこにつけるか書く
いいよ

とんなふう
に丸めるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

どこをセロ
ハンテープで
とめるか
書く
いいよ

ある？

どこに
つけるか
書く
いいよ

紙コップの
どこに
つけるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

紙コップの
どこに
つけるか
書く
いいよ

紙コップの
どこに
つけるか
書く
いいよ

とんな
ふう
に丸める
か
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

どこに
つけるか
書く
いいよ

紙コップにもよりますが、出来上がりです。

たこ糸を紙コップと新聞紙にはりつけます。

本時での学びを生かした〈作り方メモ〉

おもちの作り方をしる書 〈作り方〉メモ

名前

① わりばしに、おもちをつけておもちに、じをうつけます。

まず、

テープで、

※わりばしは、わりません。

② 魚の形に切ります。

つぎに、

上手に魚を切れない人は、魚のまわりをきりながら切るといいです。

いかや、かいか、さんまや、あかめもつかえます。

③ 魚のつらに、点粒を書きます。魚の目なども書いてください。

その後、

つく、

自分で、自由に点粒を考えます。

④ もちのワッパをつけておもちを、紙コップや、食ひんトレイに魚をつけて、

さいごに、

テープで、

おもさを付けて

自分の〈作り方〉メモに言葉を付け足す

完成!

札幌市立二条小学校

(17×18)

その後、魚のうらにうすく点数を書きます。自分で自由に点数を考えていいです。魚の体のぶ分も書いてください。

さい後に、魚にクリップをつけて、つれます。紙コップや、食ひんトレイにテープで魚をつけて、おもしろさをつけてもいいです。

へあそび方へあそび方

魚をついてあそべます。つた魚のうらを見ると、点数がかかれています。魚がもの足りない人は、ほかの魚も作ってみてもいいですね。

魚つりの作り方

いっぱい人がいると楽しめる「魚つり」の作り方をせつめいします。へざいりょうとどうぐ

- ・糸(二十センチメートルくらい)
- ・色画用紙
- ・(紙コップ)
- ・わりばし
- ・(黒いペン)
- ・食ひんトレイ
- ・はさみ
- ・テープ

へ作り方

まず、わりばしに、テープで糸をつけて、糸にじ石をつけます。

※わりばしは、おりません。

つぎに、魚の形に切ります。上手に魚が切れなそうな人は、魚のまわりの絵を紙に書いて、書いた線を切ります。いかや、かいや、さんまや、わかめ、大きなまぐろなども作れます。

札幌市立二条小学校

(17×18)

3. 本時の成果と課題

成果



実際に作るという「実の場」の設定

- 困り感・課題意識
- ならではの気づき

「丸める」って、
ボール？筒？

テープが取れ
ちゃった！

教師の例文を改善するという活動

- 「自分ならこう書く！」という書き手の視点で考えをもつ

「付箋」で気付いたことを分類・整理

- 「仲間分けによる一般化」→「自分で使える技」に

課題

子どもの思いに合った本時だったか？

- 「組み立てメモ・〈作り方〉メモが書けた！」
→「早く自分の本番を書きたい！」という
子どもたちの意欲とのずれ？

「教師の例文」よりも「自分が書いた文章」で交流

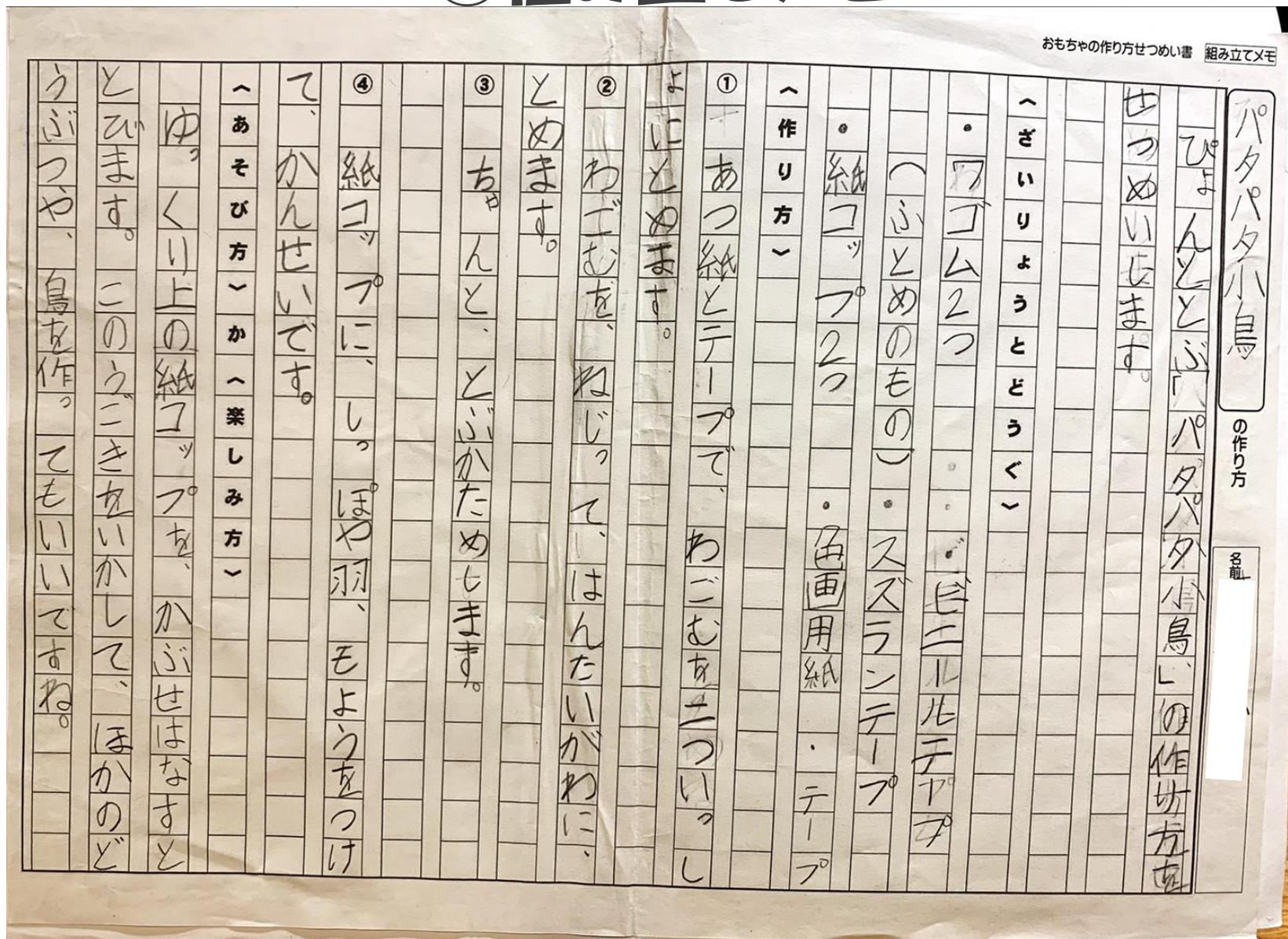
- 再構成するなら、教師の例文を使って、短時間でポイントをおさえ、自分の文章に向き合う時間を長くしたい。

4. ワークシート & 清書

①表紙



②組み立てメモ



③ <作り方>メモ

おまじやの作り方はしめし書 <作り方>メモ

名前

① あつ紙とテープで、わごむを二つに折ります。

まず

紙コップに

ほそ長く

テープでとめるときは
ビニールテープか
ガムテープで

にじゅうにして

紙コップの内が
あつ紙に

② わごむをねじらして、はんだいがわにとめます。

つぎに

まっすぐ

向てとめる

×二つ折りにねじらして

さみでとる
をがしじょう
にしてから

1回

あつ紙をあ

③ ちんととじかためます。

それから

そしてもようか
かきつけを
します。

こわれないよ
うにゆくり。

かきつけて
はなす。

2〜3回

たまに切れる
ことがあります。

④ 紙コップに、しらほや羽、もようをつけてかんせい。

さいごに

リボンや
ネクタイを
つけておいて
ね。

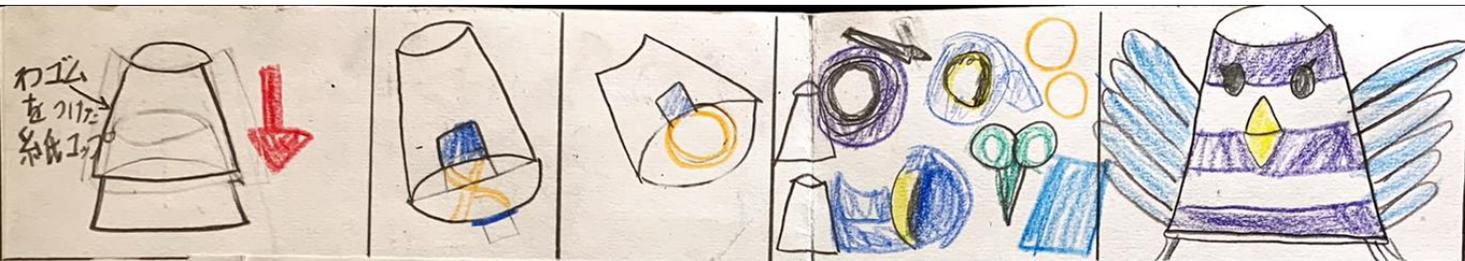
くちはし

とじかため
て

かっこよく

かわいく

④清書



パタパタ小鳥の作り方

ぴよんととぶ「パタパタ小鳥」の作り方をせつめいします。

△ざいりょうとどうぐ▽

- ・紙コップニつ・わごむ2二本
- ・スズランテープ
- ・色画用紙
- ・テープ
- ・はさみ
- ・ペン
- ・ビニールテープ

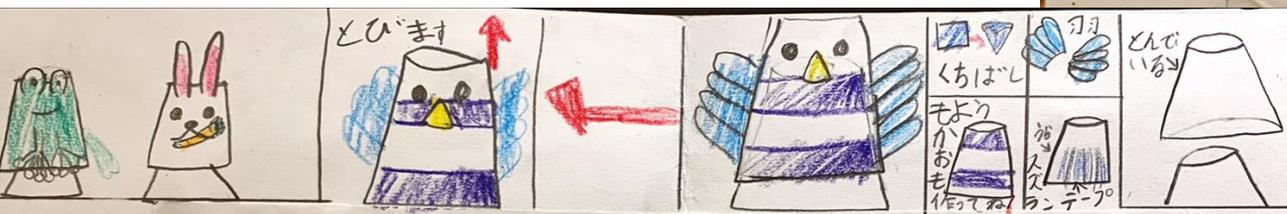
△作りか▽

まず、紙コップにほそ長く切ったあつ紙とテープで、わごむをニじゅうにして紙コップの内がわにとめます。

つぎに、わごむをばって丸にねじって、まっすぐはんたいがわに、テープでとめます。

それから、こわれないようにゆっくつかぶせて、はなして、ちゃんとして

(17×18)



「ふかニ」三回ためします。

さいごに、紙コップに、スズランテープを作ったしっぽや、オリジナルの羽をつけて、色画用紙を小さく、正方形に切ってまるめたくちばしをつけてかたせいです。もよりをつけてせいです。

△あそび方▽

ゆくり上の紙コップをかぶせてはなすとびます。このうごきかたをかして、ほかのどうぶつや、鳥を作ってもいいですね。

⑤ コメント・ 振り返し

読んだ友だちからのコメント

このふりをつける
と、ぜんたいに四
つぐらういと、
を書きつけて、よ
かったよ。ほかに
もなうらたことを
かいて、よかったよ。
たよ。

友達からのコメント 自分の振り返し

→伝わってよかった！
こんな力がついた！
「書いてよかった」という達成感

名前

ふりかえり

こんなことを気をつけて書きましたが、何かの作り方をしめすめや、は、こんなことを気をつけたいですか。

いままでなら、た教や形をいしきして書きました。
きざとさんばい、いままでなら、たことをしかりつか
て書いていました。わたしもしいままでなら、たこと
をわすれず、ん文しようにつかいたいです。あと、せつ
めい、書を書くときは、くわしく書くのは、大じだけ、長く
書いてもわかりずらいから、みじかくわかりやすく
くわしく書くといいと思いました。つぎからはそれ
らのことを気をつけて書きたいです。

5. 今後に向けて

今後に向けて

1. 子どもの「書きたい！」が持続する活動構成

目的意識・相手意識・必要感

例えば...

1年生に、【説明書と材料】を箱に入れてクリスマスプレゼントとして渡す。など



2. ワークシート・付箋等を活用した学習の積み上げ

子どもの変容が見取れるように

最初の文→付箋などのメモ→
下書き→清書 の内容・変容で評価

3. 評価に向けて、「何を学ばせるか」のねらいを明確に

〔丁寧な書き方をおさえて、**スモールステップ**〕
→ ほとんどの子が、よく書けた○〕⇔ 「構成」等への困り感

実践報告は以上です。
ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

- ・本時の導入での実の場(教師の例文を読んでけん玉を作る)で、課題意識をもたせたことが良い。
 - ・単元の最後の実の場(完成した説明書を読んで、お互いにおもちゃを作る)場面では、書いたことが伝わっているか子ども自身が確認したり、自分で評価したりできたのか？
- 
- ・友達と説明書を読み合って作る際には、読むだけでなく、分からないところは聞き合って作っている様子が見られたので、説明書の文章だけで伝わったかの検証まではできなかった。しかし、読んだ友達からのコメントを書いてもらうことで、分かりやすく書けていた点などを友達から評価してもらえるようにした。